



秋田県議会 会派 いぶき 元気主義



秋田県議会6月定例会は県警組織の再編計画案や、県立高校の統廃合に向けた計画案（叩き台）が議論の焦点になるべきと考え臨んだつもりです。ところが知事のゴルフコンペ参加の是非や教育長の失言に話題が集中し、案件を深く議論できずに散会してしまいました。県の姿勢に苛立ちを感じるのと共に、自分の力不足を強く反省しています。

本号では、高校の統廃合について、県側に問いかけた内容とその答弁をお知らせします。

門脇 県立高校にあっては一学年四クラスが適正規模と考えている

根岸高校教育課長 十年後の姿を予想し、何をすべきか、その素案の叩

角館の二校は統合で新たな高校に？

県立高校の統廃合計画案（叩き台）

県教育庁は、第5次高校整備計画後期計画（平成18～22年度）の叩き台を教育公安委員会に提示した。生徒数の減少を背景に、大館・鷹巣阿仁・能代・角館・湯沢の5地区にある19高校を、10～12校に再編統合する内容。この後、地域の意見を参考にしながら12月に素案をまとめ、来年7月に成案としたいとしている。

●角館地区は角館高校と角館南高校を一つにして新たな学校に。進学中心の普通科1校とする。定時制課程で角館南高校の校舎を活用。

県教育公安委員会 常任委員 質疑より

県立高校の統廃合案で

にして存続させるかだ。統合で学校が減った場合、子供たちの学習の権利を脅かすことにはならないのか。根岸高校教育課長 教育の機会均等と言う観点を踏まえると、極めて遠距離通学になる場合がある。この対応はどうすると言うような指摘があり、この後の協議になると思う。



き台をつくった。問題提起をする形を固めたものと理解いただきたい。細かいことについては各地区で、また全県的な見地で議論したい。

門脇 地域の活力、地域の活性化を図るため、高校は中核施設だ。議員は県のスポークスマンだが、地域住民でもある。自分が納得していないものを住民の方々に説明できない。キーポイントは小規模校をどのよう

は考えられない。高校においては量と質を考えなければいけない。

門脇 教育を規模、生徒数、財政で論じて良いのか。

門脇 多様性、人間関係の浅い深い

小野寺教育長 教育も財政に入っていると

門脇 小・中・高が連携する学校をつくることもあると言うことであ

小野寺教育長 学校が全然ダメにな

三浦教育次長 各学校の空き教室を

門脇 教育は数で論じるべきではない。数の話しをするならば、一学級が四十人でなく、秋田県が進める少人数学級にすれば、学級数は必ず増える。少人数学級の検討はされたか。根岸高校教育課長 以前、全県一律的な少人数学級の編成について試算したことがあったが、人件費のかかり増しが大変な額で、現実的な策と

門脇 小・中・高が連携する学校をつくることもあると言うことであ

※写真と文とは直接関係ありません



ちよっとお勉強

Q 常任委員会の仕事って何ですか？

県議会には6つの常任委員会があります。いぶきは門脇が教育公安委員会、京野が建設委員会に所属しています。常任委員会はたくさんの案件を各担当委員会に分けて、詳しく内容を審議する場です。出席者は委員会所属の県議と県の執行部（各部長、次長、課長）等です。

Q 総括質疑って何ですか？

総括質疑は、常任委員会で取り上げた案件について、さらに深く審議することが必要と認められるもの、また当該案件が各常任委員会の枠を超えて審議する必要があるものを、徹底的に議論する場です。一問一答方式で開催され、その出席者は全県議と知事、副知事、出納長、教育長、県警本部長、各次長、各課長等です。

総括質疑には各会派に割り当て時間があり、会派割り当て10分と会派所属議員数×3分となっています。いぶきは10分+(2人×3分)で16分ですが、座長裁量時間があって、重要な議論が時間で打ち切られないよう配慮されています。今回の高校教育に関する総括質疑は、座長が5分延長してくれました。



上の写真：総括質疑の様子

子供たちの未来へ… 秋田の指針

シリーズ・高校教育

門脇 知事に伺う。今回の計画では住民の声を聞くことが後回しになっているような気がする。この状況をと

知事はどのようにお考えか。寺田知事 後回しと言うのはどういう意味か。教育を含めて改革の面であつたこと、硬直性があつたことは認めざるを得ない。教育は生徒がいかに学ぶことができる環境をつくれるかと言うことだ。公立の高等学校だから、教育コストを納税者にはつきり示すことも重要だ。ご批判や抵抗もある。だが今教育は真摯に取り上げて、考えて行動すべきであらうと思つてゐる。

門脇 教育長も前の教育公安委員会で「地理的条件によっては、二クラスでも三クラスでも小さな学校を存続させる」と言つてゐた。それが教育の均衡、教育を受ける子供たちの権利を守るものだ。教育長に伺う。全ての女子校を共学化すると第五次前期計画で成文化したのか。

小野寺教育長 その通りだ。門脇 知事に伺う。男女共同参画社会を実現する上で、女子校の意義は

数の論理ではない 教育には地域の声を

小野寺教育長 どんな学校が必要かを考えるチャンスが、今、各地区に生まれた。皆さんが考える案もどんどん出して欲しい。平成二十年くらいまでは、既に着工したり計画を進める学校もある。今計画に出た学校はその後になっていく。財政的な裏付け等、細かいところは今つくっていない。決まり次第、やれるところから行うことになると思う。

門脇 教育長は男女共学化は一律にしていくなだと言つた。統合計画案五地区の内、大館桂、能代北、角館南、湯沢北は現在女子校だが、計画上の今後入学者予定数は、女子校で推移した場合を想定したものか、共学化を想定したものか。

小野寺教育長 現在は女子校のまま計算している。その中学校の生徒がどういう動きをしているかと言つたのは、長い間の経験則がある。門脇 不可解だ。県は共学化をしていこうと大きな声で謳つてゐるが、計画にある指標は女子校のままと言つた。今後の高校の在り方を議論する資料に、女子校のままの入学予定数値を使用しているのはどうだろうか。また財政的な側面があつて今回の統合があると伺つたが、議会側にこの整備計画案に対する財政的な資料が出ていない。統合した際の経費、現状を維持した場合の経費、そういう資料が必要ではないか。

門脇 教育長に伺う。今回の統廃合計画案は、平成十七年度以降の入学

門脇 不可解だ。県は共学化をしていこうと大きな声で謳つてゐるが、計画にある指標は女子校のままと言つた。今後の高校の在り方を議論する資料に、女子校のままの入学予定数値を使用しているのはどうだろうか。また財政的な側面があつて今回の統合があると伺つたが、議会側にこの整備計画案に対する財政的な資料が出ていない。統合した際の経費、現状を維持した場合の経費、そういう資料が必要ではないか。

小野寺教育長 例えは県北の場合は四年前に示したものと何ら変わらなかつた。私もデータを整理しながら予測はしている。こういう時代だから、もし大きく変わつて別の手法

門脇 不可解だ。県は共学化をしていこうと大きな声で謳つてゐるが、計画にある指標は女子校のままと言つた。今後の高校の在り方を議論する資料に、女子校のままの入学予定数値を使用しているのはどうだろうか。また財政的な側面があつて今回の統合があると伺つたが、議会側にこの整備計画案に対する財政的な資料が出ていない。統合した際の経費、現状を維持した場合の経費、そういう資料が必要ではないか。

寺田知事 仙北市に一高校、計画ではそうだが、高校生の男女が良い意味で競い合う青春時代であつて欲しいと思つた。どういふ学校が仙北市にとって一番理想的であるか、こういうことを考えた上で決めるべきであらうと思つた。

門脇 これからも協議をよろしくお願ひする。

●秋田県議会「会派いぶき」
〒010-8570 秋田市山王4-1-1 秋田県議会棟内
電話018(860)2094 FAX. 018(860)2105

●門脇みつひろ事務所
〒014-0512 仙北郡西木村上荒井字新屋10-1
電話0187(52)5188 FAX. 0187(52)5189
ホームページ <http://www.kadosan.com/>
メール info@kadosan.com

●京野さきこ事務所
〒012-0826 湯沢市柳町1-3-11
電話0183(78)1555 FAX. 0183(78)1557
ホームページ <http://www.han-chan.jp/>

県政報告「会派いぶき活動レポート」
仙北編 5 2004・夏 発行
発行元：秋田県議会会派「いぶき」
発行者：会派いぶき 代表 門脇 光浩